

目 次

第2版はじめに
はじめに

第 I 部 法への誘い

第1章 法の目的	2
第2章 法 源	9
① 法源の意義と種類 (12)	
② 成文法の種類 (13)	
③ 不文法の種類 (14)	
第3章 法の解釈・適用	17
① 解釈の必要性 (17)	
② 法の適用 (17)	
③ 解釈の方法 (19)	
第4章 裁 判	25
① 裁判の意義 (25)	
② 裁判外の紛争解決 (26)	
③ 裁判の種類 (28)	
④ 裁判を支える法律家 (30)	

第 II 部 憲 法

第1章 憲法の基本原理	34
① 基本原理 (36)	
② 天皇 (42)	
第2章 人 権	46
① 人権総論 (46)	
② 自由権 (55)	
③ 社会権 (71)	
第3章 統治機関	81
① 国会 (81)	
② 内閣 (87)	
③ 地方自治 (90)	
④ 裁判所 (92)	

第Ⅲ部 民法

第1章 総 則	104
① 民法の基本原則 (104) ② 人 (106) ③ 法人 (107) ④ 法律行為 (108)	
⑤ 代理 (111) ⑥ 条件および期限、期間 (114)	
⑦ 時効 (114)	
第2章 物権・担保物権	117
① 物権 (117) ② 担保物権 (128)	
第3章 債 権	138
① 債権総論 (138) ② 債権各論 (152)	
第4章 親族・相続	175
① 親族 (175) ② 婚姻 (176) ③ 離婚 (179) ④ 親子 (180)	
⑤ 相続 (183)	

第Ⅳ部 刑法

第1章 刑法総論	188
① 序論(188) ② 構成要件(190) ③ 違法性(201) ④ 責任(209)	
第2章 刑法各論	222
① 刑法各論の意義 (222) ② 生命・身体に対する罪 (222)	
③ 財産に対する罪 (225) ④ 社会的法益に対する罪 (231)	
⑤ 国家的法益に対する罪 (233)	